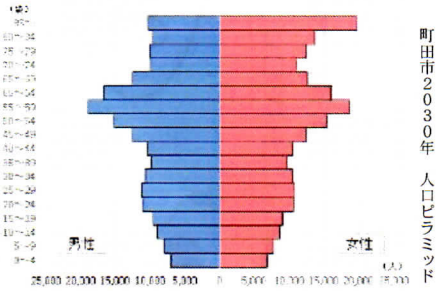
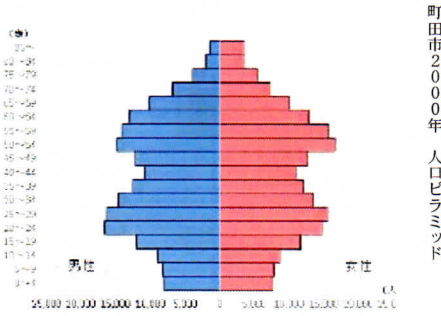


見守り支援ネットワークについて

今、なぜ、見守りが必要なのか？

日本の少子高齢化は、世界でも例を見ないスピードで進んでいます。東京都においても、平成37年には、都民の4人に1人が65歳以上となる、超高齢社会の到来が見込まれています。町田市でも、総人口がゆるやかな減少に転じる一方で、高齢者人口は大幅な増加が予測されます。



2000年において、青年・壮年・中年の5人が1人の高齢者を支えている構図が、2035年には2〜3人の青年・壮年・中年が1人の高齢者を支える社会となるのです。

急速な高齢化に伴い、一人暮らし高齢者や認知症の症状のある高齢者が増えていくことが予測されており。こうした方々は地域から孤立しやすい状況にあります。今、住民同士がさりげなく気遣い合い、困った時に遠慮なく助けを頼めるような地域社会づくりが求められています。

ちょっとしたことから・・・

見守り活動を始めてみませんか!?



防犯パトロール 見回り



回覧板の手渡し



町内会費の徴収

特別な事をしなくても、町内会・自治会等が日常的に行っている活動の中に、見守りの視点を盛り込むことで、大きな負担とならずに、住民同士の見守り合いを行うことができます。

その他の事例

サロンやカフェの開催



集会所や共有スペースがあれば、サロンやカフェを開催することも有効です。住民同士が気軽に集まって雑談をする機会を作る中で、自然と「気掛かり」な情報を交換し合うことができ、さらには閉じこもりの防止にもつながります。

A市の取り組み



運営は協議会が行い、地域のボランティアがスタッフとして活動しています。

団地自治会や行政が協働で協議会を立ち上げ、空き店舗でサロンを運営。



食事会やコンサート、地域住民が作品を持ち寄って展示会、また世代間交流など、工夫を凝らした活動を行っています。



「地域の力」だけでは解決できないような困難なケース等については、高齢者支援センターやあんしん相談室が専門性を生かした見守りを行い、地域を支えていきます。10年後、20年後を見据え、地域住民全員が安心して生活できるように、今から土台作りをしていきますか？若い世代の方々からの声も聴けますと嬉しいですね。

ご興味のある方、もっと詳しく聞きたいという方は、お気軽にあんしん相談室までお問い合わせください！
たくさんのお問い合わせお待ちしております！

引用：町田市HP、高齢者等の見守りガイドブック

RUN(半) 2016(品川～藤沢) 9/19 月・祝

“今年の町田はなんだかアツい!”

主催 NPO法人 藤沢会ランニングクラブ 共催 町田市 高齢者福祉課 社会福祉法人 七五三会 社会福祉法人 芙蓉会

Check! GOAL 達成!

「認知症になっても安心して暮らせる町田」を作るという大きな目標には、力の結集が必要です。あなたの応援で、ランナーが走る道徳をオレンジ色に染めて下さい。

今年も、9月19日祝日にRUN伴が開催されます。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症の人もそうでない人もみんながタスキをつないで日本を縦断するプロジェクトです！3つのコースが、町田ターミナルプラザ市民広場を目指します。ゴールイベントも開催されます！皆さんの家の前をオレンジ色のTシャツを着たランナーが走るかも!!
あたたかいご声援をよろしく
お願いいたします。:)

まだまだ暑い日が続いております。熱中症には十分気を付けてお過ごしください。



小山あんしん相談室

電話 042・794・8751

住所 町田市小山町2619 芳村ビル1F